

医療法人雄仁会・社会福祉法人雄仁会

求人のご案内

雄仁会の各施設では、資格をお持ちの方、経験のある方はもちろん、看護や介護の経験や資格のない方の勤務も歓迎します。パート勤務も可能です。お近くのハローワーク又は病院事務部にご遠慮なくご相談ください。応募される前に病院見学も行っています。

○求人中の職種【必要な免許・資格】

- (1) 正看護師【必須】(2) 准看護師【必須】(3) 看護助手【不問(免許・資格は不要)】
- (4) 介護職(介護福祉士・通所サービス)【必須】
- (5) 介護職(通所サービス)【不問(免許・資格は不要)】
- (6) 介護支援専門員(ケアマネージャー)【必須】
- (7) 作業療法士(OT)【必須】(8) 医療事務【必須】(9) 薬剤師【必須】

雄仁会で一緒に働いてみませんか？ 病院見学会・施設見学会

医療法人雄仁会と社会福祉法人雄仁会では、「病院見学」「施設見学」を随時受付中です。ご要望に応じていつでも対応させていただきますので、電話やメールでお気軽にご相談ください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

医療法人雄仁会「公式ホームページ」

採用情報

〔病院見学エントリー〕

申込みフォーム



<https://yuujinkai.com/recruit/#consul>

雄仁会スタッフのユニフォームが新しくなりました

10月から、看護職、介護職、管理栄養士のユニフォームデザインを一新しました。伸縮性や速乾性に優れた素材で快適な着心地となっています。新しいユニフォームでこれまで以上に患者様やご利用者様が親しみやすい病院・施設づくりを目指してまいります。



【編集後記】

今年も残すところ一ヶ月少々となりました。来月は師走。しなければならぬ事ばかり次々と浮かんできますが、ゆっくり焦らずに、心穏やかな日々を重ねていきたいものです。



広報誌 ゆうじんかい

基本理念 安全 ● 信頼 ● 満足

TOPICS

ご挨拶



雄仁会 理事長
加藤 一郎

新型コロナウイルス感染症は発生から約4年になりますが、今年はインフルエンザと同時流行となり、マスク着用や消毒実施の感染防止対策を続けています。皆様もどうぞお気をつけてください。

最近の世界情勢は、ロシアのウクライナ侵攻が2年目を迎え、さらにハマスのイスラエル軍事攻撃が勃発するなど不安が増しています。

品不足や物価上昇など日々の生活に影響もでています。また気候変動による猛暑や豪雨災害が相次ぎ、秋に台風が少ないのも温暖化のせいではないかと心配しています。被害が出ないことを願っています。

日本の将来は、少子高齢化がすすみ、団塊世代が75歳を迎える後期高齢化2025年問題や、団塊ジュニアが65歳になる労働人口減少の2040年問題に向き合わなければなりません。人口減少に伴い、医療・介護の需要は増加する一方で労働力は急激に減少していくことは避けられず、地方だけでなく全国的に大きな課題となっています。

高齢化に伴い認知症は増加傾向にあり、2025年には約700万人になると推計されています。国は新しい認知症治療薬レカネマブを承認しました。使用にはハードルが高いようですが、効果に期待したいものです。今後加藤病院の大分県認知症疾患医療センターが重要な役割を担っていくと思われま。

このような状況の中、医療法人・社会福祉法人雄仁会は地域の皆様に貢献するため、スタッフ約350人が日々努力を続けています。医療法人では加藤病院を中心に岡の苑、オレンジハウス、ステップハウス、和の郷、木もれ陽等で地域の皆様に医療介護福祉を提供し、住み慣れた場所で安心して生活を送ることができるようサポートしています。社会福祉法人では、特別養護老人ホームこころの郷において、高齢者の介護を行っています。雄仁会は、相談から受診、治療、在宅支援、入院入所まで、地域の皆様のニーズに応じたサービスを提供しています。

もし、困ったことや悩み事がありましたら、早めに相談や受診されることをおすすめします。私たちは地域の皆様とともに歩み、医療介護福祉で貢献していきます。よろしくお願いいたします。

地域での認知症早期発見 早期対応の取り組み

大分県認知症疾患医療センター

加藤病院は、大分県から認知症疾患医療センターに指定をされており、竹田市と豊後大野市で認知症の専門医療機関として活動を行っています。その活動の一環として、昨年度から行政と協働し、地域に出向いて認知機能検査事業を行っています。

この事業では、65歳以上の方を対象として、認知症の一步手前の状態である軽度認知障害(MCI)の状態、早期発見する事を目的としています。認知症は早期発見し、早期対応をする事で、その後の経過も良好になる事が多いです。また、一度、認知症になってしまうと、健康な状態に戻る事はありませんが、軽度認知障害の場合は、適切な対応をすれば、健康な状態に戻る場合もあるので、早期発見の意義がより大きいです。

続いて事業の内容ですが、まず、認知症予防の講話と認知機能検査をセットで実施しています。講話を聞いて頂いた上で、認知機能検査を実施する事により、現在の自分の状態をしっかりと把握し、適切な対応につなげていくという意識をより高めて頂きます。そして、日を改めて、結果説明会を実施します。認知機能検査の結果は、正常、軽度認知障害の疑いあり、認知症の疑いありの3つに分類されます。全ての方に、結果説明を行い、認知症予防の為、今後、日常生活を送る上で気をつけるべきポイント等について説明を行います。その上で、軽度認知症疑いありの方には、地域で行っている教室やサロンを案内したり、専門医の受診を勧めたりしています。

住み慣れた地域で長く生活を送る為にも、認知症をしっかりと予防する事が重要です。興味のある方は、ぜひ一度、お問合せください。



令和5年度ふれあい看護体験



10月20日、ふれあい看護体験で竹田市内の高校生男女4人が特別養護老人ホームこころの郷に来てくれました。血圧測定、手浴・足浴、車椅子体験、とろみの食事介助など体験して、看護師のお仕事に興味を持ってきて、患者さんとのコミュニケーション、そして命の大切さも実感したようです。将来の看護師を目指して頑張ってもらいたいです。体験終了後は、入居者が高校生とのお別れを惜しんで涙していました。

学会・研究会

「豊肥地域看護研究会」

9月9日土曜日、豊後大野市緒方公民館で、竹田・豊後大野地区看護ネットワーク会議と大分県豊肥保健所主催の「豊肥地域看護研究会」が開催されました。加藤病院から看護職のスタッフが参加しました。5病棟（認知症治療病棟）の藤井美緒看護師（共同研究者：浅尾 航看護師、佐藤楓看護師）が、「認知症トリアージ～介護者の負担軽減への取り組み～」と題して研究発表を行いました。認知症トリアージを導入することで、優先的に介入が必要な患者様に対して迅速な対応策を検討できるようになり、その結果、介護者にとって負担度の大きな症状が早期に改善されるケースが増えたことが報告されました。研究の成果を今後の看護の実践に活かしていきます。



▲研究発表する藤井美緒看護師

ご意見箱から

当院に入院中、心のこもった千羽鶴を折っていただいた患者様から以下の投書をいただきました。担当の病棟スタッフが、患者様から千羽鶴で応援したい熱い思いをお聞きし、竹田高校にお贈りすることになりました。このことを心の支えとして、千羽鶴の完成まで丁寧に制作していただきました。そして、ご自身の体調も回復し、無事退院いただくことができました。お預かりした千羽鶴は、病棟スタッフが竹田高校野球部にお届けし、夏の大会に臨むチームの健闘をお祈りしました。竹田高校生も「千羽鶴が力になった」と、後日3年生7人が、寄せ書きを持参して御礼のあいさつに訪問していただきました。加藤病院では、これからも入院患者様と心の通った看護・介護ができますようさらに努めてまいります。

医療法人雄仁会 加藤病院

患者様からのメッセージ(抜粋)

スタッフの皆様へ 私は71歳のおばあちゃんです。気持ちは20歳の乙女です。私が入院中に千羽鶴を折っていたところ、病棟課長さんが竹田高校に贈呈できるようにしていただきました。それからはさらに真剣に折りました。千羽鶴が出来上がってからは何をしていたかわからなくなって、長いトンネルに入ってしまった。でも、6月30日に竹田高校に贈呈して課長がスピーチをしたと聞いて、病気も治ってきました。その後、退院が決まった時に長いトンネルから抜けました。それからは日に日に良くなりました。これもスタッフの皆様のおかげです。本当にありがとうございます。感謝。

